

画質、音質、すべてが特上!
選ぶなら、やっぱりブルーレイ!

恐怖を高める凝りに凝った照明。その効果が判るのはブルーレイだけ!

『リング』の中田秀夫監督が放つ新たな恐怖譚。ブルーレイならではの見どころは凝りに凝った照明。序盤の日常的な柔らかな色調が、恐怖が高まるに連れて徐々に色を増していき、クライマックスでは鮮やかな原色が炸裂。この変化はブルーレイでしか体験出来ません。特典の前田敦子、中田監督らの音声解説は深夜ラジオのノリで愉快です。

『クロユリ団地』

画質、音質、すべてが特上!
選ぶなら、やっぱりブルーレイ!

近未来を表現する色調はブルーレイで観て初めて判る!

本作の色調には暖かみが皆無。映像は白と薄い青を基調にして、DNA情報という究極の個人情報に脅かされる近未来の社会を表現。DVDだと、このような色調は全体がぼんやりとしてしましますが、ブルーレイだと細部までシャープ&クリア。監督と撮影監督の意図通りの映像で鑑賞することが出来ます。さすがはブルーレイ!

『プラチナデータ』

画質、音質、すべてが特上!
選ぶなら、やっぱりブルーレイ!

2077年、宇宙人との核戦争で無人と化した地球。その荒涼感をブルーレイで体感!

ロケーション撮影とCGの合成によって作り上げられた荒廃した地球。その風景の寂寥感、無機質な居住区域の透明感、緑が萌える秘密の山小屋の安んび感、薄暗い地下の恐怖感。ブルーレイ映像で観てこそリアルに感じられます。クリアで細密なブルーレイ画質の底力を実感出来る逸品。製作の過程を企画立ち上げから追ったドキュメンタリー他特典も充実!

『オブリビオン』

画質、音質、すべてが特上!
選ぶなら、やっぱりブルーレイ!

すべてがゴージャスな“狂乱の20年代”を現代に蘇えらせる驚異の映像!

20世紀アメリカ文学の傑作の5度目の映像化。パステル調を下地にした独特の色調できらびやかでありながら落ち着いた色彩が展開。しかも映像は細部まで緻密で、絢爛豪華な衣装や美術が心ゆくまで堪能出来ます。製作の過程や舞台になる時代、原作者についてなど作品のすべてが判る特典映像も見もの。

『華麗なるギャツビー』

画質、音質、すべてが特上!
選ぶなら、やっぱりブルーレイ!

絵画を思わせる陰影に富んだ映像で浮き彫りにされるリンカーン大統領の決断!

自然光を多用し、光と影を生かした撮影から生み出される映像は、さながら絵画。特に白い外光が差し込む暗い執務室で運命の時を待つリンカーン大統領のシルエットを写すカットは、宗教画を見た時のような厳粛な気持ちになります。スピルバーグ監督以下のスタッフ&キャストが如何に真摯に本作の制作に臨んだかが判る特典映像は見応え十分。

『リンカーン』